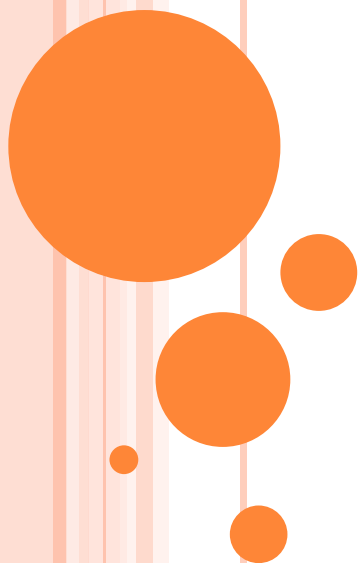


これからの公共施設を考える

人口減少時代、孫・子につなぐ魅力ある公共施設



川西市 都市政策部
公共施設マネジメント室

本日の説明会で、 知っていただきたいこと

- ◆ 今後、多くの公共施設が老朽化し、建替えなどの必要性が高まってきています。
- ◆ 今後、少子高齢化が進むとともに人口が減少し、公共施設の利用ニーズも変わっていきます。



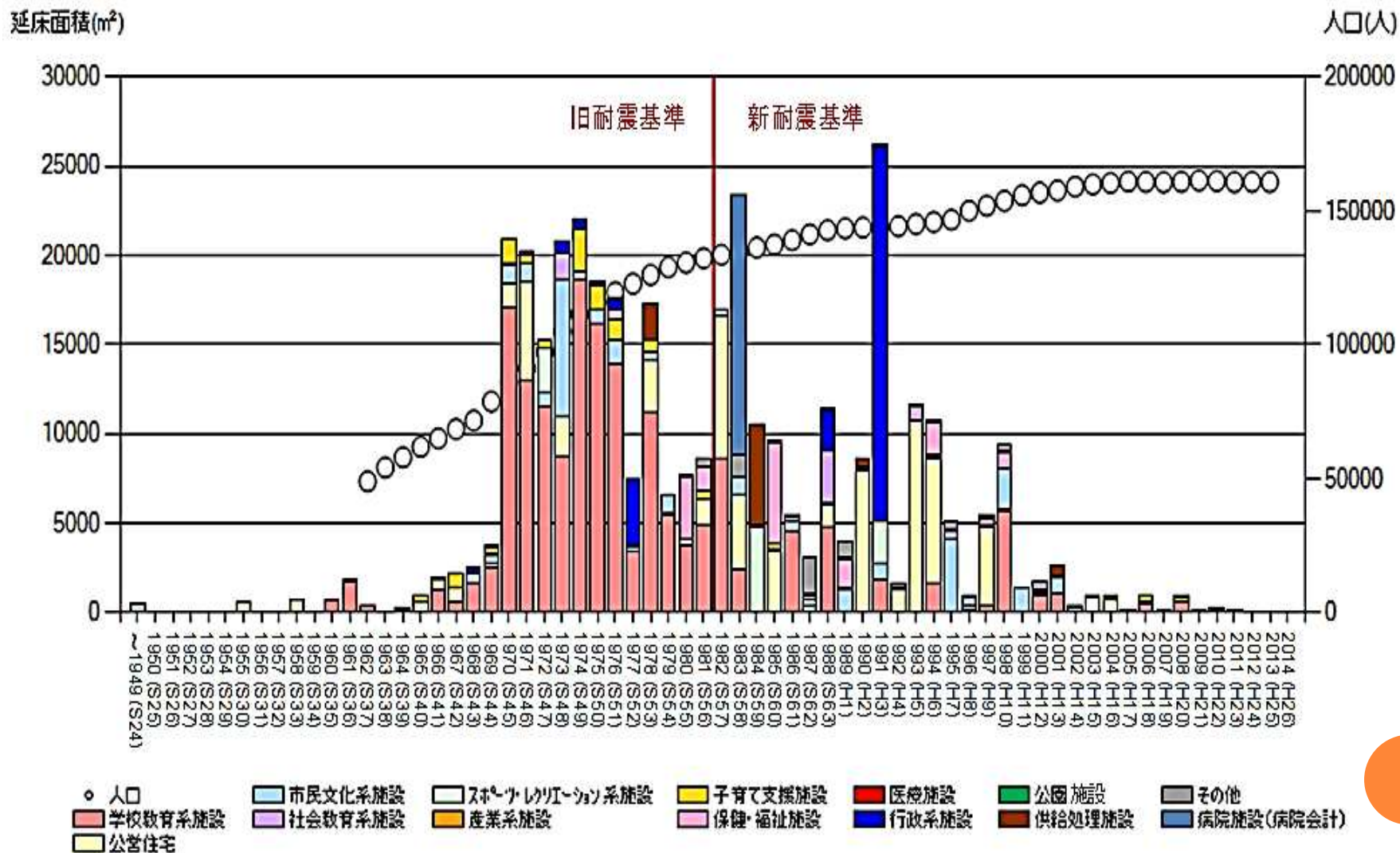
- ◆ 長期的な視点で公共施設を再編していく必要があるため、市は基本的な方向性を示す計画を作っていきます。

川西市のまちは今...

- ◆ 川西市は、大阪や神戸に近く、自然豊かな立地から、昭和40年代に大規模団地が開発され**人口が急増**。その時、小学校などの公共施設も**一斉に建設**されました。
- ◆ それから40～50年経過し、公共施設は**建替えが必要な時期**を迎えようとしています。
- ◆ 一方で、今後**少子高齢化**が進んでいくとともに、**人口が減少**すると予測されています。

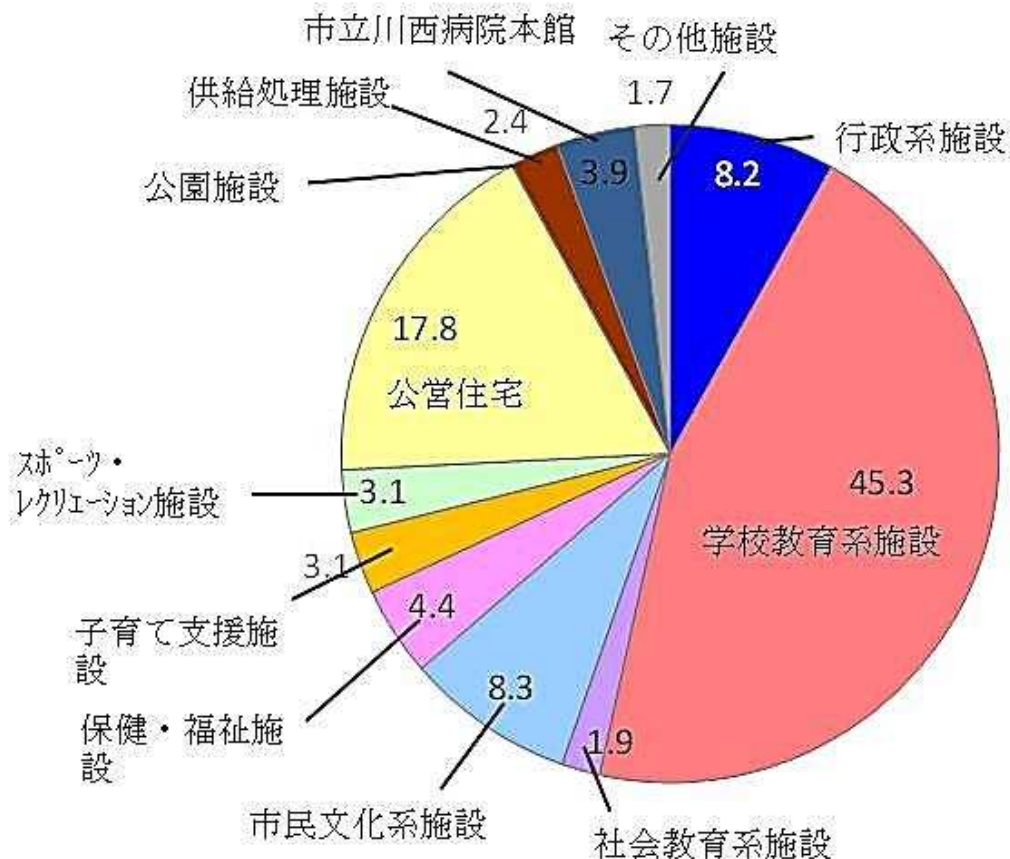
公共施設を取り巻く現状は？

【その1 施設の建設時期】



公共施設を取り巻く現状は？

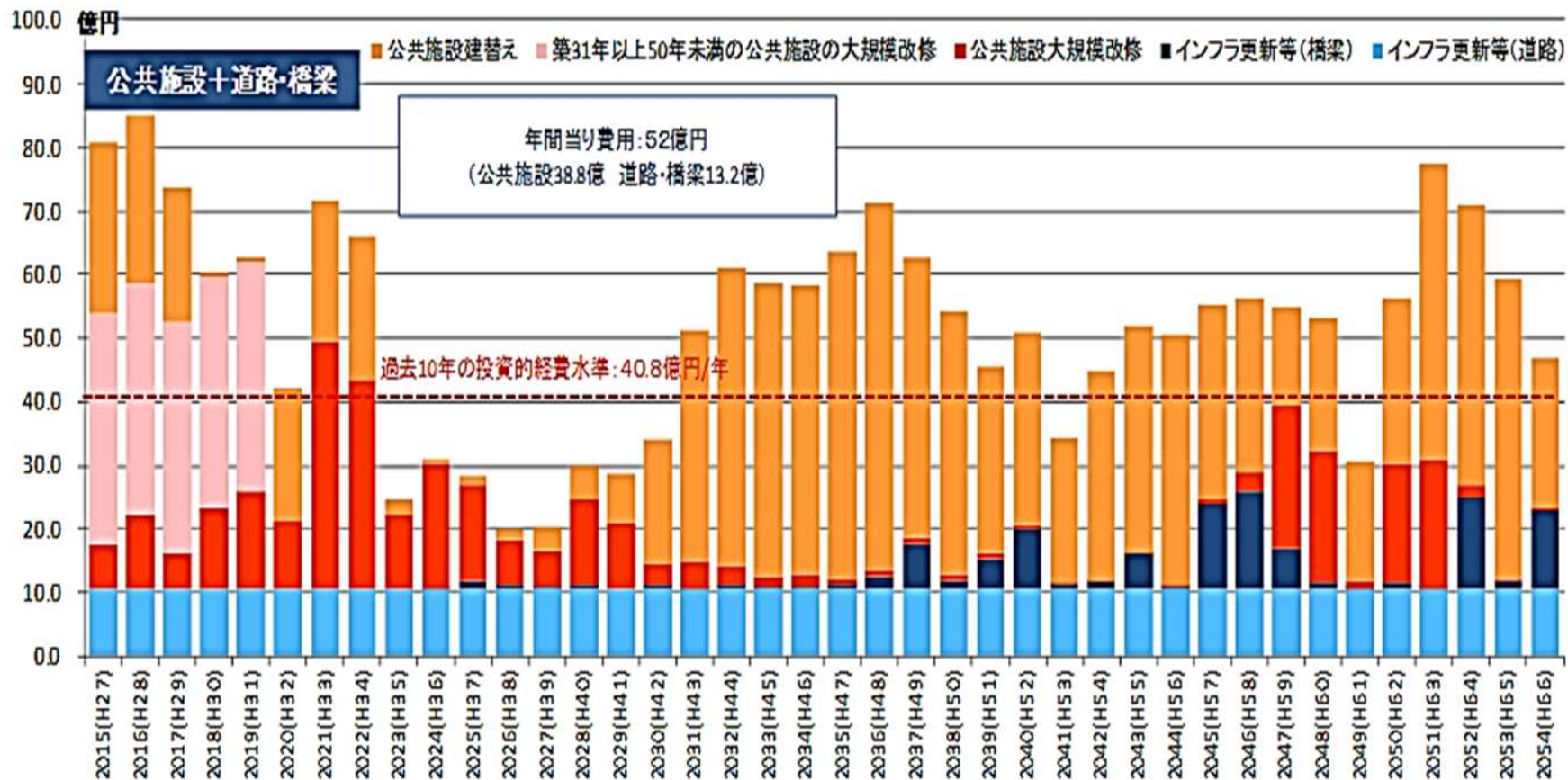
【その2 施設面積と構成比】



総延床面積は、37万6千㎡
甲子園球場の約10倍の面積

公共施設を取り巻く現状は？

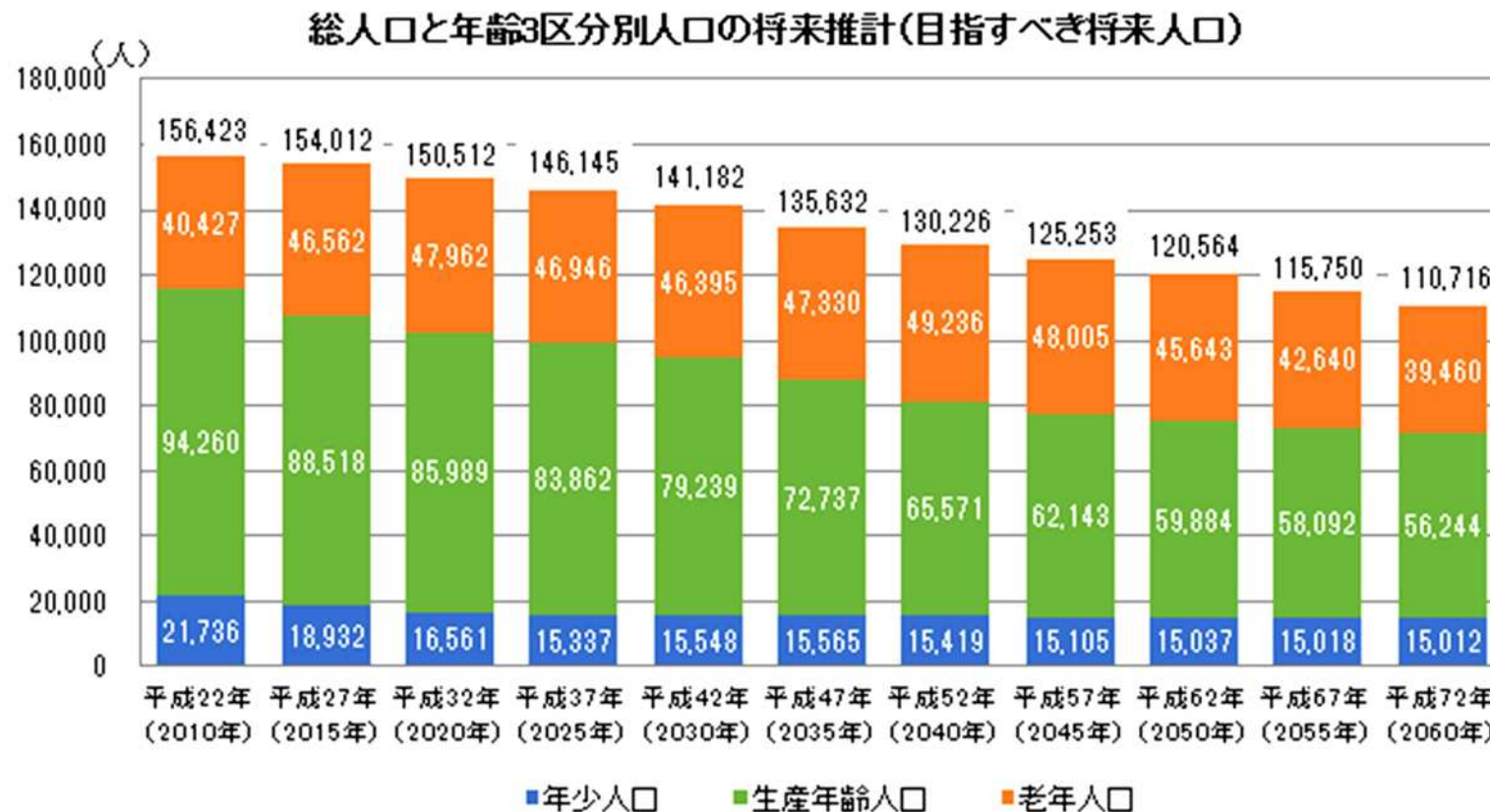
【その3 施設の更新時期と費用】



今後、建替えや修繕にかかる費用は1年当たり52億円。
それに対し、市がかけてきた費用は41億円です。

公共施設を取り巻く現状は？

【その4 人口減少】



平成27年と平成67年の人口を比べると、約25%減少することが予測されています。

公共施設を取り巻く現状は？

【まとめると】

- ◆ 市の人口が急増した昭和40年から50年代には、学校施設をはじめとした公共施設の建設が集中しています。
- ◆ それらの公共施設は一斉に建替えの時期を迎えますが、一律に建替えるには多額の費用が必要となってきます。
- ◆ 一方で、人口が減少すると、公共施設を利用する人が減ることが想定できます。

とすることは...

現在の公共施設をそのまま
建替えることは難しい状況です



- ◆ 将来を見据えて計画的に公共施設の建替え・修繕を行っていくため、今後の公共施設のあり方について地域の皆さんと一緒に考えていく必要があります。

公共施設等総合管理計画とは？

- ◆ 今ある公共施設のすべてを建替えることは難しい状況にあるため、公共施設の状況や市民の皆さんのニーズを把握しながら、将来に向けて公共施設をどのように適正配置し、子どもたちにつないでいくかといった基本的な方針をまとめたものです。

総合管理計画の期間は？

- ◆ 計画期間は、2016年（平成28年）度を起点に向こう**40年間**として設定します。
- ◆ これは、公共施設の半分を占める学校施設の建替えが2030年代（平成42年～）にピークを迎えることや、多くの経費を必要とする市役所（本庁舎）の想定建替え時期（2050年代初頭）を計画の中に入れておく必要があるからです。

計画策定時に大切にすること

- 1．市民の皆さんの参画と民間活用を
考えます
- 2．公共施設の適正な総量（延床面
積）を考えます
- 3．公共施設の適正な機能を考えます

大切にすること その1

市民の皆さんの参画と民間活用を考える

- ◆ 公共施設は市民共有の財産です。

このため、地域と密接な関係にある公共施設の今後を検討する際、市民の皆さんと対話しながらあり方を決めていくことを計画の中には盛り込んでいきます。

- ◆ 公共サービスの担い手は、必ずしも行政である必要がない時代です。

このため、市が施設を所有することや、直接的にサービスを提供することに捉われず、民間の施設やノウハウを活用していくことも必要です。

大切にすること その2

公共施設の適正な総量を考える

- ◆ 人口が減少し、少子高齢化も進みます。
このため、長期的な視点で公共施設の総量を減らしていく必要があります。また、計画の進み具合を計るため、**数値目標**を盛り込みます。
- ◆ **小学校**については、地域の活動拠点やシンボルであるため、廃校後もその特性を踏まえて**利活用**する方向で検討することを盛り込みます。
- ◆ 道路や橋といった**インフラ施設**については、生活・経済基盤であるため、基本的には**総量を維持**していくことを盛り込みます。

大切にすること その3

公共施設の適正な機能を考える

- ◆ 現在の公共施設は、建設当初の時代の必要性に合わせて建設しました。
- ◆ しかし、建設から時間が経ち、今日では皆さんのニーズに合わず、あまり利用されていなかったり、満足できなかったりする施設もあります。



- ◆ そのような施設は、どのように変化させればニーズに合うのかを考える必要があります。ただし、根本的に施設の必要性が低ければ、廃止することも必要です。

計画策定のスケジュール

- ◆ 4月から5月上旬までに各コミュニティ単位で説明会を開催します。
- ◆ 6月ごろに計画案のパブリックコメント（意見募集）を行い、皆様のご意見を計画に反映していきます。
- ◆ 9月ごろに計画を策定します。
- ◆ 計画策定後、個別の施設計画を策定していきます。

本日の説明で、公共施設を取り巻く課題を
共有させていただけたら幸いです。
ご清聴、ありがとうございました。



お問い合わせ先

川西市 都市政策部 公共施設マネジメント室

072-740-3737

kawa0198@city.kawanishi.lg.jp